

論文審査の結果の要旨

報告番号	共博(医歯薬)甲第 22 号	氏名	前田 俊輔
学位審査委員	主 査	前田 隆浩	
	副 査	永田 康浩	
	副 査	田崎 修	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、絶対値基準によって評価する既存の National Early Warning Score (NEWS) と個人毎に基準域を設定する新規の Modified Early Warning Score (MEWS) を用いて、介護施設入居者の肺炎入院予測に向けた有効性について比較検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 介護施設入居中に入院となった入居者を対象に後ろ向き観察研究を行い、肺炎で入院した肺炎群：62 名と非肺炎群：173 名に対し、NEWS と MEWS それぞれの肺炎入院予測値の有用性について ROC 曲線を用いて比較解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、MEWS は感度：0.77、特異度：0.97 と良好な結果を示し、MEWS の AUC (0.92) は NEWS の AUC (0.80) より有意に大きく、MEWS の方が肺炎入院予測により有用であることが明らかになった。本結果から、介護施設入居者の肺炎発症の検知と早期治療に MEWS が重要な指標を提供し得ることが期待される。</p> <p>以上のように本論文は医療・介護関連肺炎の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			